

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



## シャインマスカットの防除もしっかりと



- 今年はブドウ全般に病害が発生しました。その中で、今までべと病や晩腐病に比較的強いと言われてきたシャインマスカットにも被害園が散見されました。
- 開花期前後には「房べと」が発生しました。展葉5～6枚期から幼果期まで続く生育初期における一連の薬剤防除は遅れない様に実施することが重要です。
- その後、梅雨が長期化し、連日の降雨に葉の露が切れることもなく適期防除のタイミングは失われ、病害多発につながりました。
- 今後、発生要因がさらに解析され、来年に向けた対応策が示されると期待します。地球温暖化に起因する毎年の気象変動を十分に考慮しながら関係機関で連携し、高品質果実の安定生産の実現をさらに目指せればと願います。



べと病の発生した果穂



晩腐病の発生果房



## ブドウの葉、秋色さまざま



- ブドウ産地を眺めると、各畑は赤色や黄色など様々な色に彩られているのに気がきます。
- これはブドウの葉に含まれる色素の量や種類が樹の品種や栄養状態や気温等に影響を受けるためです。例えば、甲州や窒素欠乏樹が低温にあたると赤色色素のアントシアニンが蓄積し、鮮やかに紅葉します。反対に、アントシアニンが蓄積しにくい品種などでは、緑色がそのまま残ります。
- このようにブドウの葉色は産地の秋の景観形成に役立つだけでなく園地の立地条件や樹体生理を理解する手段にもなります。



様々な色彩からなる秋のブドウ園